

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年09月16日

計画の名称	自然と調和した潤いのある豊かな環境都市の実現（重点計画）													
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当		○	
交付対象	大館市													
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。 し尿等受入施設整備を行い、大館市し尿処理場で処理しているし尿・浄化槽汚泥を大館処理センターにて共同処理することにより、効率的かつ経済的な汚泥処理を実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,984	A	4,984	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)	(R4末)	(R6末)
1	大館市の下水道処理人口普及率を57.1%（R2当初）から63.5%（R6末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）×100	57%	63%	64%
2	大館処理センターにおける1日あたりのし尿・浄化槽汚泥の処理量を、0KL／日（R2当初）から102KL／日(R6末）に増加させる。			
	大館処理センターにおける1日あたりのし尿・浄化槽汚泥の処理量（KL／日）	0KL／日	0KL／日	102KL／日

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	1 処理分区（川口地区） （特環）	污水管φ250～150、L=5.4km	大館市	■	■				679		－
		地域種別：過疎																	
	A07-002	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	9処理分区（狐台地区ほか） （公共）	污水管φ200～150、L=2.7km	大館市	■	■	■	■	■	366		－
		地域種別：過疎																	
	A07-003	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	10処理分区（上野地区ほか） （公共）	污水管φ300～150、L=3.5km	大館市		■	■	■	■	665		－
		地域種別：過疎																	
	A07-004	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	16処理分区（八坂地区） （公共）	污水管φ200～150、L=1.7km	大館市	■	■	■	■		212		－
		地域種別：過疎																	
	A07-005	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	18処理分区（御成町地区） （公共）	污水管φ200、L=0.4km	大館市		■	■			63		－
		地域種別：過疎																	
A07-006	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	21処理分区（稲荷山地下 区ほか）（公共）	污水管φ250～150、L=2.4km	大館市	■	■	■			524		－	
	地域種別：過疎																		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-007	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	施設計画の見直し	効率的事業計画策定	大館市	■					7		－	
		地域種別：過疎																		
		A07-008	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	真中処理分区（特環）	接続管φ150、L=0.9km	大館市	■	■	■			164		－
	地域種別：過疎																			
	A07-009		下水道	一般	大館市	直接	大館市	終末処 理場	新設	し尿等受入施設	し尿等受入施設の整備	大館市	■	■	■	■		1,773	1.51	－
		地域種別：過疎																		
		A07-010	下水道	一般	大館市	直接	大館市	管渠（ 污水）	新設	21処理分区（台野道上地 区ほか）（公共）	污水管φ150、L=3.8km	大館市					■	■	531	
	地域種別：過疎																			
												小計						4,984		
												合計						4,984		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
大館市下水道事業担当課により事業実施状況・指標達成状況の確認及び評価を実施	事業期間終了後（令和8年7月～令和8年9月）
	公表の方法
	大館市ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道整備により、大館市の下水道処理人口普及率を57.1%（R2当初）から64.1%（R6末）に増加させ、市民の快適な暮らしを実現し、良好な環境の創造に寄与することができた。 また、し尿等受入施設における処理量については、目標値を施設規模決定の際に算定した最大値で設定していたこともあり、達成することはできなかったが、大館処理センターでの共同処理により効率的かつ経済的な汚泥処理の実現に寄与している。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

事業の成果として、下水道処理人口普及率の目標値63.5%を達成し、順調に整備することができた。
引き続き、低コスト手法の採用や大型ロットによるJV発注など、さらなるコスト縮減や工期短縮を図りながら、効率的に下水道整備を進めていく。

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道処理人口普及率		
	最 終 目標値	64%	整備が順調に進捗し、最終目標値63.5%に対し実績値64.1%と0.6ポイント上回り達成することができた。
	最 終 実績値	64%	
2	し尿・浄化槽汚泥の処理量		
	最 終 目標値	102KL／日	受け入れを開始した１２月から翌年３月までの期間は、例年し尿受入量の減少期であることから、目標を達成することができなかった。
	最 終 実績値	85KL／日	